

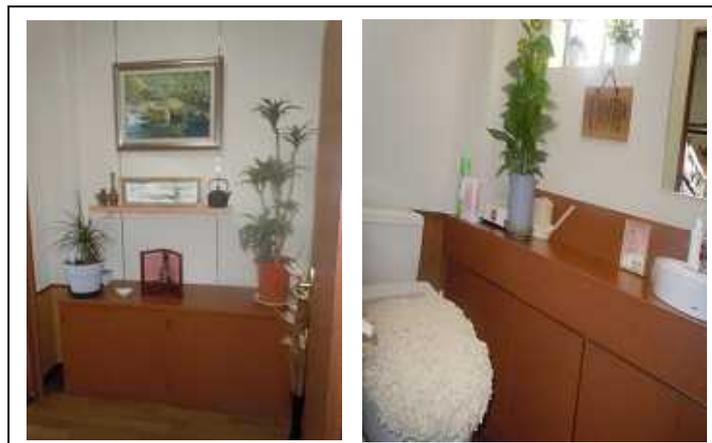
# 植木店改装終了！！



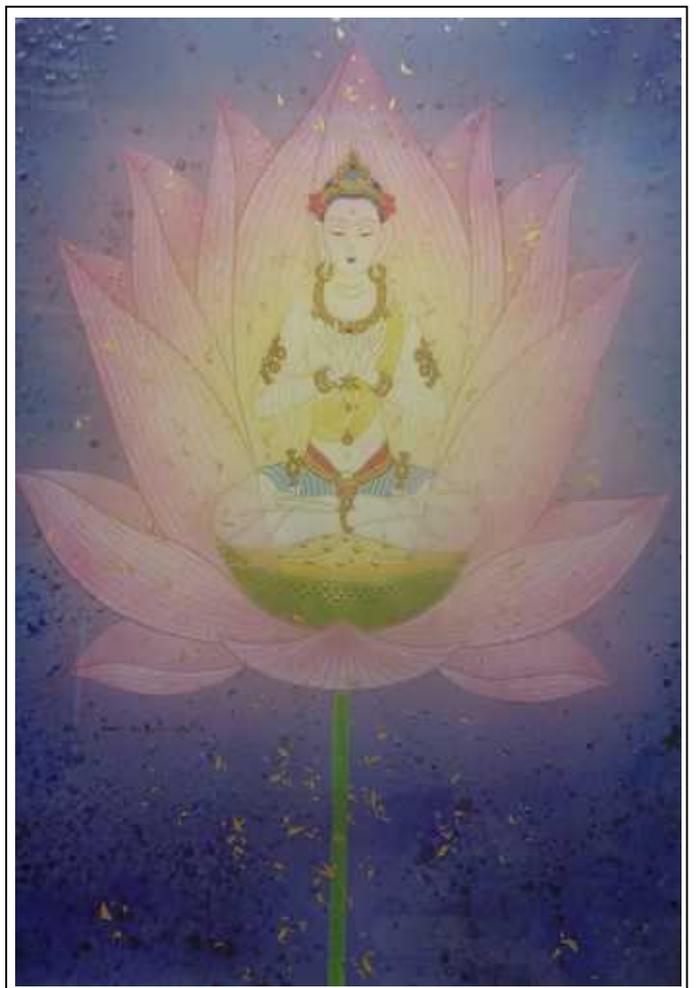
外観はまるで別の店みたいに！



義母の水彩画「菊池水源3部作」



トイレもピカピカに！お香のかおり



奇跡を呼ぶ観音様の絵  
※是非、「パワー」と「癒し」を感じて下さい！

約2週間かかって植木店改装が終わりました。店の入り口もイメージしていたとおりに変身。念願のトイレも、もったいないくらいピカピカに…

店内には、義母の力作水彩画の「菊池水源3部作」と～私の人生最大の衝動買いで手に入れた、草場一壽氏の世界でたった一つの陶彩画「蓮華菩薩」を正面に飾りました!!

(マリナーズイチロー選手のロッカールームにも飾ってあります！

今、注目の「陶彩画」のパワーと癒しを是非感じて下さい)

いい改装ができて直接お客様と接する私達スタッフが新しい店に負けな  
いよう、しっかりレベルアップしないと意味がないとプレッシャーを感じています!!  
そこで今回は、自分達に活を入れる意味も込めての「心の栄養剤です」!

### 心の栄養剤 n o 42より「どんな仕事も」

Aさんは、自分の事務所の近くに駐車場を借りていた。その駐車場には初老の管理人がいた。定年退職後、その駐車場の管理人として働き始めたそう  
だ。

Aさんが駐車場を利用する度に、そのおじさんはいつも明るい笑顔で「おはよ  
うございます。今日もいい天気ですね」と声を掛けてくる。

ある日のこと、移動の途中で雨が降り出し、駐車場に車を入れた後、車から  
出られず困っていた。するとそこへおじさんがやってきて、「傘、忘れたんで  
しょ。これ持っていきなさい」と貸してくれた。

満車のとき、「満車」と書いた大きな看板を入りに置いておくのが普通の駐  
車場だが、そのおじさんは満車になると、入り口に立って、入ろうとするドライ  
バー一人ひとりに「申し訳ありません。満車です」と頭を下げた。クレームを言  
う客がいると、その車が見えなくなるまで頭を下げ、見送っていた。それを見な  
がらAさんは、「そこまでしなくてもいいのに…」と思っていた。

ある日、車を止めてあいさつをすると、おじさんは「今週いっぱい辞めま  
す。いろいろお世話になりました」と言う。奥さんが病気になっらしい。

残念に想いながら、最後の日、Aさんは感謝の気持ちを込めて手土産を持って  
いった。そして駐車場に着いたとき、Aさんは信じられない光景を見たのだっ  
た。

小さなプレハブの管理人室の周りがたくさんの人で溢れていたのだ。そして  
管理人室の中も外も、たくさんの手土産や花束でいっぱいだった。一人ひとり  
がおじさんにお礼を言ったり、握手したり、写真を撮ったりしていた。

Aさんは、「仕事ってこれなんだなあ」って教えられたという。

「どんな仕事も楽しくなる3つの物語」より

この管理人のおじさんの「そこまでしなくてもいいのに…」という  
仕事ぶりを目標にして、今まで以上に、お一人お一人のお客様に、心よりの一期一会の対応をし、少しでも笑顔に元気に  
なってもらえるよう心掛ける事を誓います!!



**是非、新しいキュート植木店にお立ち寄り下さい!**